



全国学力・学習状況調査の結果について

日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

さて、本年度、全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。

個別の調査の結果は、6年生の各家庭に個人票としてお渡ししました。

【分析の考え方】

国語と算数、理科の学力調査結果と学習や生活の様子に関する質問紙調査結果について記述しています。

本調査によって測定できるのは、児童の学力の一つの側面であります。今回の調査結果を分析することで、本校児童の学習状況の傾向や課題を明らかにし、今後の教育課程の編成や教育活動の改善に生かして参ります。

【学力状況についての調査結果から】

【国語】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域の平均正答率】

主として「知識」に関する問題（A）

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均と**ほぼ同程度である。**
- 「書くこと」
 - ・全国平均よりも**下回っている。**
- 「読むこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや上回っている。**

主として「活用」に関する問題（B）

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均よりも**下回っている。**
- 「書くこと」
 - ・全国平均よりも**下回っている。**
- 「読むこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

- 自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。

- 目的に応じて必要な情報を捉える。

- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

- 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。

- 物語の構成例（現在と過去、出来事に変化を加える等）を学んだ上で、自分の物語を読み返す学習過程を重要視する。児童の表現したいという思いを大切にしつつ、創造的に表現することの楽しさを実感させる指導の充実。

- 何のために調べるのか目的を明確にする。目次や索引、見出し等、必要な情報を得るための方法を児童が身に付けることができるようにする指導の充実。

- 相手の意見と自分の意見との共通点や相違点を整理する。その際、それぞれの発言をメモとして書き残す手立て等も指導する。その上で、自分の考えを筋道を立ててまとめられるような指導の充実。

- 事例を挙げて具体的に説明をする。そのために、自分の考えを具体化し、必要な資料を集め、得た情報を適切に関係付けて分かりやすく書く指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域の平均正答率】

主として「知識」に関する問題（A）

- 「数と計算」
 - ・全国平均よりも**下回っている**。
- 「量と測定」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている**。
- 「図形」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている**。
- 「数量関係」
 - ・全国平均よりも**下回っている**。

主として「活用」に関する問題（B）

- 「数と計算」
 - ・全国平均に比べ、**下回っている**。
- 「量と測定」
 - ・全国平均に比べ、**下回っている**。
- 「図形」
 - ・全国平均に比べ、**下回っている**。
- 「数量関係」
 - ・全国平均に比べ、**下回っている**。

- 除法が小数の場合の1に当たる大きさを求める式を理解すること。

<問題>

0.4mの重さが60gの針金があります。この針金1mの重さを求める式を1つ選びなさい。

- ア $60+0.6$
- イ 60×0.4
- ウ $60\div 0.4$
- エ $0.4\div 60$

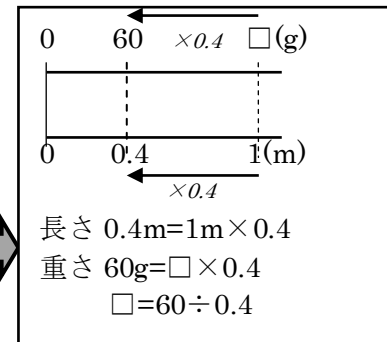
- 分度器を用いて、 180° よりも大きい角の大きさを求めることができること。

- 算数の問題場面から見いだした数量の関係を基に、論理的、発展的に考察し、数学的に表現できること。

- 数量の関係を捉え、図や数直線などに表す活動を位置付け、計算の意味の理解を基に演算決定ができるようにする指導の充実。

<問題の解答例>

問題場面を数直線に表す。



- 1 直角、2 直角、3 直角を基にして、「測定する角の大きさは何度以上、何度以下になりそうか。」と見当を付け、角の大きさを測定する指導の充実。

- 数量の関係を見いだして考察し、さらにその数量関係がほかの場合でも成り立つことを確かめて、確かめた数量の関係を的確に表現することができるようにする指導の充実。

<例>

$$\begin{array}{r}
 6+12+18+24+30 \\
 +12 \quad +6 \quad \quad -6 \quad -12 \\
 \hline
 18+18+18+18+18 \\
 (18 \times 5)
 \end{array}$$

【学力状況についての調査結果から】

【理科】

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向

【区分及び領域の平均正答率】

A区分

□ 「物質」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

□ 「エネルギー」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

B区分

□ 「生命」

- ・全国平均とほぼ同程度であるが、**やや下回っている。**

□ 「地球」

- ・全国平均に比べ、**下回っている。**

- 堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解すること。
区分：「地球」
内容：流れる水の働き

- 土地の浸食について、結果を見通して実験を構想できたり、実験結果を基に分析、考察、まとめができること。

区分：「地球」
内容：増水による土地の変化

- 電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想できること。
区分：「エネルギー」
内容：電流の向きと大きさ

- 問題意識をもたせ、野外観察(旅行的行事の時など)やモデル実験を行い、得られた結果から、自然の事物・現象と科学的な言葉を一致させる指導の充実。

- どのような予想を確かめたい実験なのかを明確にし、実験方法の妥当性や得られる結果の見通しを児童同士で検討させる。実験後は、自分の「予想」と「事実」と「解釈」の両方を表現することで、よりの確な説明になることを捉えさせる指導の充実。

- 回路の中をどのように電流が流れているかを、第3学年「電気の通り道」の学習内容や生活経験と関係付ける。根拠のある予想や仮説を設定し、図などで表現しそれを基に話し合う指導の充実。

【学習や生活の状況についての質問紙から】

全国と比較して差異の大きい質問、本校の児童の傾向が顕著に見られる質問について分析しています。

学校に関すること

○肯定的な回答割合が全国と比べて多いといえる質問

『理科の勉強は好きですか』 『理科の授業の内容はよく分かりますか』

『観察や実験を行うことは好きですか』 『5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いませんか』

『理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか』

『5年生までに受けた事業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいたと思いませんか』

●肯定的な回答割合が全国と比べて少ないといえる質問

『算数の勉強は好きですか』 『算数の授業の内容はよくわかりますか』

『算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか』

改善に向けて

- ◆ICTの効果的な活用、課題を明確にした学習展開など、「分かる・できる・楽しい」授業づくりを進めます。
- ◆子ども一人一人のよさ、課題や目標に向けて努力する姿を認める取組を進めます。
- ◆基礎的・基本的な学習が定着するように、漢字・計算ドリルやICTの活用など日常の授業の改善を進めます。
- ◆課題を解決するために見通しをもって取り組むことや、学んだ知識・技能が実際の生活の中で成り立っていることを捉えたり、日常生活の中で役立てられていることを確かめたりすることを大切にしていきます。
- ◆全校一斉朝読書や読み聞かせなど、朝読書を充実させる取組を進めることで、図書館の利用を促すとともに本に親しむ子を育てます。

家庭に関すること

○肯定的な回答割合が多い質問

『家で、学校の授業の予習・復習をしていますか』

『地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか』

●肯定的な回答割合が全国と比べて少ない質問

特になし

分析、改善に向けて

- ◆宿題をしているという回答も全国を上回っており、宿題・予習・復習の学習習慣がある程度身に付いているといえます。その中で、家での自学自習において「教科書を使いながら」学習する割合がやや低くなっています。プリントや問題集に限らず、教科書を開いて学習内容を確認する必要性もあるといえます。
- ◆放課後や週末の過ごし方では、「友達と遊ぶ」割合が高く、「スポーツ(スポーツの習い事含む)」の割合は低くなっています。また、「DVD視聴、ゲーム、インターネット」は全国平均並みの割合でした。ゲーム、インターネット等の利用が多いお子さんは、ご家庭で利用時間やルールを決めることが望ましいです。
- ◆その他の点についても「よくわかる！屯田小学校」を見て再度確認しましょう。